

— Yahoo!リサーチ、「ペットに関する調査」を実施 —  
**「独身ひとり暮らし」にとって、犬は恋人のような特別の存在。  
 カフェやレストランのみならず、住宅選びや恋人・結婚相手選びにも、犬を最優先？！**

<http://www.yahoo-vi.co.jp/research/100716.html>

首都圏一都三県在住で犬を飼っている20～50代男女760人を対象に実施

2010年7月16日

ヤフーバリューインサイト株式会社

Yahoo!リサーチを運営するヤフーバリューインサイト株式会社(本社/東京都中野区、代表取締役社長/田部 信)は、「ペットに関する調査」を自社調査専用パネルを対象に実施しました。

総務省統計局の発表によると、15歳未満の子どもの数は29年連続で減少(2010年4月時点)しており、総人口に占める子どもの割合は13.3%で過去最低を記録しているとのこと。ペットブームの日本では今や「子どもの数」よりも「ペットの犬猫数」の方が断然多いと言われています。特に、家族の一員として扱われるようになった犬に対しては、我が子のように愛情を注ぎ、ファッションな衣類を着せたり、一緒に旅行したりする人が増えてきています。Yahoo!リサーチでは、首都圏一都三県在住で犬を飼っている20～50代の男女のなかで、散歩やしつけ、食事の世話などをメインに行っている人を対象に、犬に費やすお金や時間、犬に対する接し方や意識、価値観などについて調査を行い、未婚、子どもの有無などの属性別に違いを探りました。

### 調査結果トピックス

- ・犬に費やす平均額は、15,000～16,000円強/月。「子どものいない夫婦」は、医療やトリミング費が多め
- ・犬と二人暮らし?の「独身ひとり暮らし」は、もっともっと犬と一緒に過ごしたい
- ・犬は、「子どものいない夫婦」には我が子のような、「独身ひとり暮らし」には恋人のような存在!?

### 【1】犬に費やす平均額は、15,000～16,000円強/月。子どものいない夫婦は、医療やトリミング費が多め

犬一匹(頭)にどの程度お金を費やしているのかを把握するため一匹(頭)のみ飼っている方を対象に、1ヶ月あたりの犬に関する費用を取得・算出し、未婚、子どもの有無別の平均金額を比較しました。

まず、各項目別の平均金額を足し上げた合計金額は、【既婚・子なし】は16,303円、【未婚・ひとり暮らし】は16,060円、【既婚・子あり】は15,016円と、【既婚・子あり】のみ15,000円台と、子どもの有無により1000円の差が見られました。

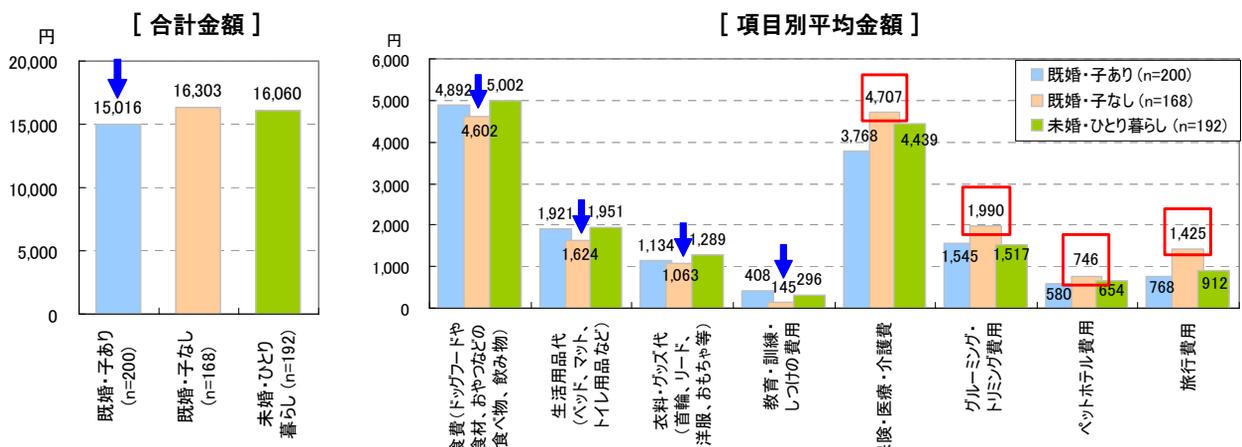
次に、この内訳を見てみると、犬の「食費」や「生活用品代」、首輪やリードを含めた「衣料・グッズ代」といった日常生活で使う物については、【既婚・子あり】と【未婚・ひとり暮らし】が【既婚・子なし】よりも高めの金額になっています。特に「食費」は、【未婚・ひとり暮らし】5,002円、【既婚・子あり】4,892円とともに5,000円前後の額でしたが、【既婚・子なし】は4,602円と300～400円の差が見られました。

逆に、「保険・医療・介護費」や「グルーミング・トリミング費用」「ペットホテル費用」、犬との「旅行費用」の平均金額は、【既婚・子なし】が突出して高い傾向が見られます。「保険・医療・介護費」は【既婚・子なし】が4,707円と【既婚・子あり】の3,768円を1,000円近く上回り、「グルーミング・トリミング費用」でも【既婚・子なし】が1,990円と他を400円ほど上回るなど、【既婚・子あり】と、【既婚・子なし】【未婚・ひとり暮らし】では、お金を費やす領域が異なることがわかります。

### 1ヶ月あたりに犬に費やす金額【未婚・同居家族別】

自由回答

※「グルーミング・トリミング(美容室・サロンなど)」と「ペットホテル」は、『1年間の利用頻度』と『1回あたりの平均金額』の数値FA回答から1ヶ月あたりの平均金額を算出。合計金額は、全8項目の1ヶ月あたりの平均金額を足し上げたもの。



## 【2】犬と二人暮らし？の「独身ひとり暮らし」は、もっともっと犬と一緒に過ごしたい

次に、犬に費やす1週間あたりの時間数について、『実際の時間数』と『本当はかけたい時間数』を行動項目ごとに確認し、先と同様、未既婚および子どもの有無別に平均時間数の違いを確認しました。

まず、『実際にかけている時間数』の1週間あたりの合計時間数は多い順に、【未婚・ひとり暮らし】10.8時間、【既婚・子なし】10.7時間と10時間を超え、【既婚・子あり】のみが9.5時間と10時間を切りました。しかし、いずれも10時間前後で大きな差は見られませんでした。行動項目ごとの平均時間数では、【既婚・子なし】は未婚や子どものいる人よりも「散歩」により多くの時間をかけているのに対し、【未婚・ひとり暮らし】は「自宅で遊ぶ」「ブラッシングなどのケア」といった、室外よりも室内での行動を共にするような傾向が見られ、過ごす場所や過ごし方の違いが見えてきます。特に、「自宅で遊ぶ」は【未婚・ひとり暮らし】が4.6時間で、「散歩」の4.6時間と同程度の時間をかけているのに対し、最もスコアが低い【既婚・子あり】では3.4時間と、1時間以上の差となっています。

そして、『本当はかけたい時間数』は、いずれも合計時間ベースで『実際にかけている時間数』の1.3倍以上と、大きく上回る結果となっており、もっと犬に時間をかけたいという気持ちが伝わってきます。特に、【未婚・ひとり暮らし】は現状の1.4倍以上となる15.6時間で、現在かけている時間では満ち足りていない様子です。行動項目別では、「散歩」の『本当はかけたい時間数』はいずれも揃って6時間程度でしたが、『実際にかけてる時間数』が最も少ない【未婚・ひとり暮らし】は現状の1.4倍となっています。「自宅で遊ぶ」では、【既婚・子あり】4.9時間、【既婚・子なし】5.7時間、【未婚・ひとり暮らし】7時間と、いずれも現状の1.3倍以上で、現状と理想の差は大きいようです。また、絶対時間数は少ないものの、「ブラッシングなどのケア」も現状との差はいずれも1.3倍以上と、犬への愛情の強さが、費やしたいと思う時間数から垣間見えるようです。特に、【未婚・ひとり暮らし】は、『実際にかけている時間数』も『本当はかけたい時間数』も既婚の人より多く、犬と自分の二人(一人と一匹)だけの生活だけに、犬のために時間を費やしたい気持ちが強いようです。

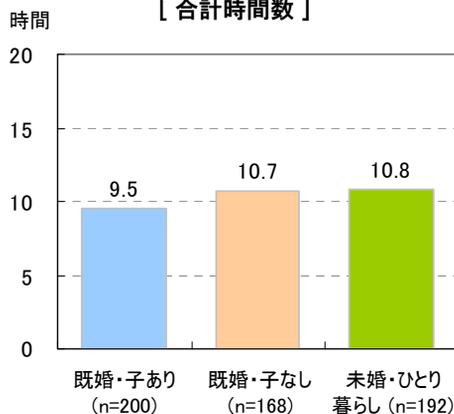
### 1週間あたりに犬に費やす時間数 実際VS理想【未既婚・同居家族別】

自由回答

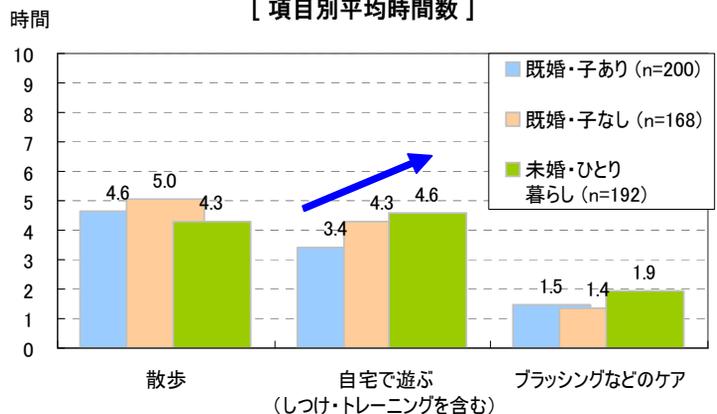
※合計時間数は、全3項目の1週間あたりの平均時間数を足し上げたもの。

実際にかけている時間数 (時間)

[合計時間数]



[項目別平均時間数]

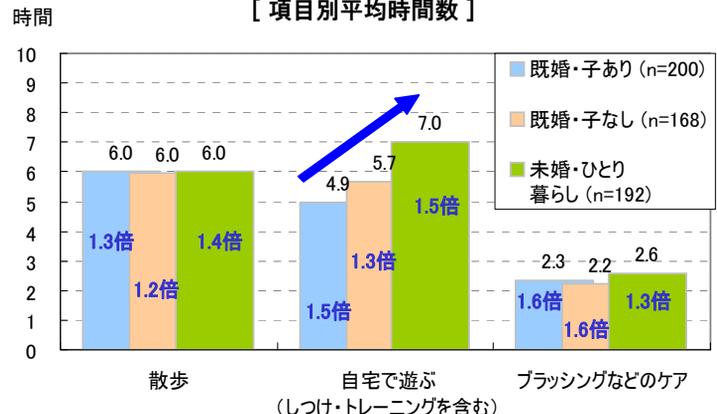


本当はかけたい時間数 (時間)

[合計時間数]



[項目別平均時間数]



### 【3】犬は、「子どものいない夫婦」には我が子のような、「独身ひとり暮らし」には恋人のような存在!?

最後に、犬への接し方や犬に関連する生活上の行動や意識、価値観などについて確認し、【1】【2】同様、未既婚および子どもの有無別に違いを確認しました(以下のスコアは『非常にそう思う』『ややそう思う』のトップ2ボックス合算値)。

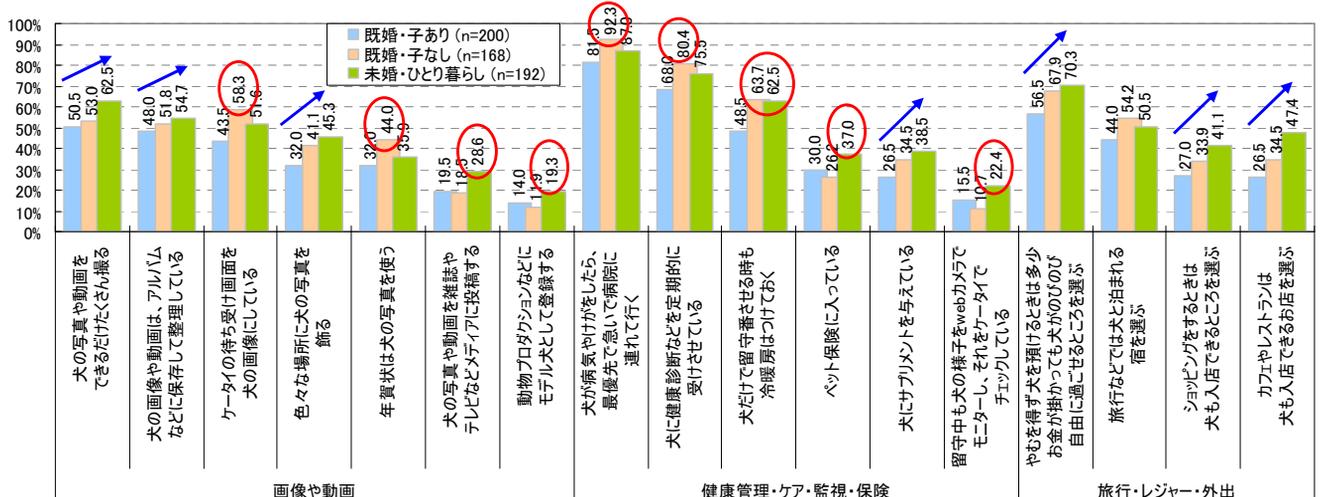
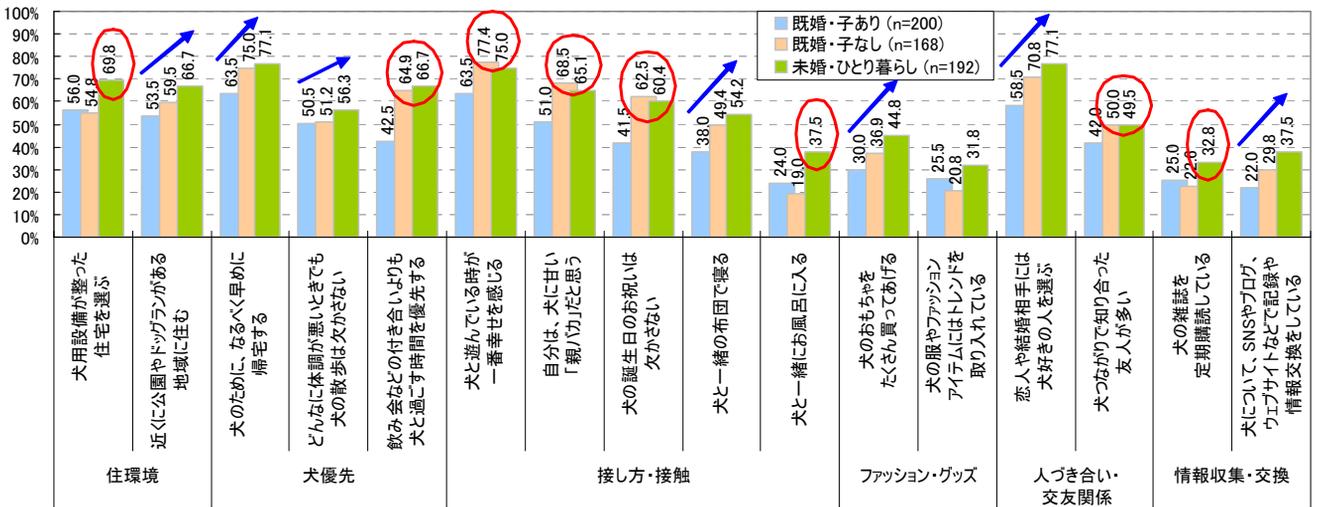
まず全体的に、【未婚・ひとり暮らし】は多くの項目でスコアが最も高いことがわかります。【既婚・子あり】【既婚・子なし】と比べて、犬に対する思いや優先順位の高さの表れとなっています。特に顕著なのは、「犬用設備が整った住宅を選ぶ」(70%)、「恋人や結婚相手には犬好きの人を選ぶ」(77%)、「犬つながりで知り合った友人が多い」(50%)、「カフェやレストランは犬も入店できるお店を選ぶ」(47%)、「飲み会などの付き合いよりも犬と過ごす時間を優先する」(67%)などの人付き合いやお店選び、時間の使い方について、犬を優先的に考える項目において、【未婚・ひとり暮らし】のスコアの高さが目立ちました。また、「犬と一緒に布団で寝る」(54%)、「犬と一緒に風呂に入る」(38%)と、まるで犬が恋人や親友であるかのような行動や、「犬についてSNSやブログ、ウェブサイトなどで記録や情報交換をしている」(38%)、「犬の写真や動画を雑誌やテレビなどメディアに投稿する」(29%)、「動物プロダクションなどにモデル犬として登録する」(19%)、「留守中も犬の様子をウェブカメラでモニターし、ケータイでチェックしている」(22%)といった、犬に関する情報収集・発信の度合いなどでも、他と比べてときの高さが際立ち、【未婚・ひとり暮らし】の飼い犬への思いの深さや存在の大きさを感じさせられました。

これら【未婚・ひとり暮らし】のスコアが高かった項目は、【既婚・子なし】でも高いものが多数ありました。それに加え、「犬が病気やけがをしたら、最優先で急いで病院に連れて行く」(92%)、「犬に健康診断などを定期的に受けさせている」(80%)などの『健康管理・ケア』関連や、「ケータイの待ち受け画面を犬の画像にしている」(58%)、「年賀状は犬の写真を使う」(44%)などでは、【既婚・子なし】が他と5ポイント程度もしくはそれ以上の差で最も高く、まるで我が子のように可愛がっている様子が想像できます。

#### 犬との接し方【未既婚・同居家族別】

単一回答

※スコアは、『非常にそう思う』『ややそう思う』のトップ2ボックス合算値



#### <調査項目一覧>

- ・飼っている犬の種類、年齢、体重
- ・犬の飼育年数
- ・最近1年間に犬にかけた費用(項目別)
- ・犬のサロン、ペットホテルの1年間の利用頻度と1回あたりの平均金額
- ・犬の食事タイプ(市販フード/手作り)と重視点
- ・項目別の犬と接する時間(実際にかけている時間数と、本当はかけたい時間数)
- ・犬に対する意識や接し方

#### <調査概要>

- 調査目的 : 犬にかける【お金】【時間】および【接し方】から、犬の存在感や優先度を探る
- 調査方法 : インターネットウェブ定量調査
- 調査対象 : 首都圏一都三県(東京、神奈川、千葉、埼玉)在住、犬を一匹(頭)のみを飼っており、犬のしつけ、散歩、食事の世話や犬のための買い物をメインに行っている20~50代男女 合計760サンプル
- 割付 : 既婚・子どもあり 男女各100サンプル/既婚・子どもなし 男性68サンプル、女性100サンプル/  
未婚・家族と同居 男女各100サンプル/未婚・ひとり暮らし 男性92サンプル、女性100サンプル
- 調査期間 : 2010年6月25日(金)~6月27日(日)

#### <調査結果の引用・転載について>

本調査結果を引用いただく際は、必ず以下の要領でクレジットを明記ください。

**Yahoo!リサーチ調べ/首都圏一都三県在住で、犬を飼っている20~50代の男女760人対象/2010年6月実施**

※編集・加工が必要な場合(本リリースで言及している範囲外でのご利用)は弊社までご連絡をお願いします。

ご連絡フォーム: <https://www.yahoo-vi.co.jp/inquiry/quote/index.php>

#### <ヤフーバリューインサイト株式会社について>

「市場の生活者ニーズを捉え、マーケティング課題を解決し、企業の成長に貢献する価値を提供すること」、それが私たちの使命です。ヤフーバリューインサイト株式会社は、マーケティングリサーチのリーディングカンパニーとして、国内最大級かつ高品質な調査パネルを基盤に、インターネットリサーチから従来型手法まで、豊富なりサーチサービスを提供しています。2008年7月より、ヤフー株式会社と「Yahoo!リサーチ」ブランドの共同運営を開始し、Yahoo! JAPANを通じた調査パネルの充実、インターネットにおけるノウハウやインターネット利用動向の活用、そして、マーケティングテクノロジーの研究・開発を続け、これまでにないサービスや価値を提供しています。

会社名 : ヤフーバリューインサイト株式会社 <http://www.yahoo-vi.co.jp>

所在地 : 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル1F  
TEL: 03-3367-1967(代表) FAX:03-3367-1961

新会社発足日 : 2007年7月1日

資本金 : 7億円

代表者 : 代表取締役社長 田部 信(たなべ しん)

事業内容: ・マーケティングリサーチ事業  
・データ解析事業  
・マーケティングコンサルティング事業

#### 【 本件についてのお問い合わせ先 】

ヤフーバリューインサイト株式会社 マーケティングコミュニケーション室 広報 TEL: 03-3367-1959 FAX: 03-3367-1969

お問い合わせフォーム: <https://www.yahoo-vi.co.jp/inquiry/form/index.php>